令和元年度事務事業評価シート（平成30年度実績）

◎基本情報

事務事業名	市営住宅改善事業	担当部署	経済建設部　まちづくり課
総合計画体系		根拠法令計画など	公営住宅法、鳴門市営住宅条例
基本政策(大項目)	3 しっかり安心・快適住み良いまちづくり		
政策(中項目)	2 快適に暮らせるまち　なると	事業期間 開始	平成 18 年度
(小項目)	居住環境		
施策	1 良好な居住環境の整備	事業期間 終期	未定
基本事業	1 住宅ストックの有効活用		

◎事業概要（PLAN）

事業対象	誰(何)を対象にしているか	☐ 個人　☑ 世帯　☑ 団体　☑ その他　☑ 内部管理 本市の管理する市営住宅
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	今後も、既存市営住宅を活用していくため、適切な施設の改修を行っていく。
事業計画	30年度に何を計画していたか	桑島第二団地A棟外部改修工事 矢倉団地G・H棟共有階段手摺設置工事

成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		市営住宅ストック改修・耐震診断棟数	1	1	1	1	1	棟

◎実施結果（DO）

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	文書のほか戸別訪問を実施するなど入居者へ事前に工事の説明を行うなど、工事について協力が得られるような環境づくりを行った。
事業実施手法		☑ 市実施　☐ 一部委託　☐ 委託　☑ 補助金　☐ その他

		指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	改修棟数	1	1	1	1	1	棟
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市営住宅ストック改修・耐震診断棟数	1	1	―	―	―	棟
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

（千円）

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	13,317	0	72,100	0	5,046	90,463
		補正予算額	0	0	△ 6,500	0	0	△ 6,500
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	13,317	0	65,600	0	5,046	83,963
		決算額	15,033	0	65,600	0	33	80,666
		繰越額	0	0	0	0	0	0

人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費	総事業費
	0.2	0.0	1,464	82,130

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：市営住宅改善事業】

事業費推移	年　度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	38,024	80,666	52,850	54,000	57,000
	うち一般財源	1	33	35,715	37,000	40,000
	人件費	1,447	1,464	1,464	1,464	1,464
	総事業費	39,471	82,130	54,314	55,464	58,464

◎項目別評価（CHECK）

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		計画的に改修工事を行うことが、市営住宅の長寿命化や入居者の生活環境の向上につながる。
	効率性	B:概ね効率的だった		入居者への文書や訪問により事前説明を行うなどにより工事を円滑に進めることができた。
②成果に対する評価	指標名	市営住宅ストック改修・耐震診断棟数		工事を行うことにより、建物の長寿命化や適切な設備更新を進めることができた。
	目標	1	棟	
	実績	1	棟	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		建物の長寿命化や設備の適切な更新を進めることができ、市営住宅の住環境向上に寄与できたためA評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後においても、毎年1棟づつ行っている外部改修工事を行っていくなど計画的に建物の長寿命化や設備の更新を進める。また維持管理団地において計画的に階段に手摺りを設置する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	桑島第二団地B棟外部改修工事 手摺り設置工事（桑島第二団地B棟、矢倉団地）			
	R2年度	明神第二団地外部改修工事 手摺り設置工事（明神第二団地、矢倉団地）			